

歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック発



歯医者さんで、なぜ個室?

一般的な歯科医院では、オープンスペースで見通しが良く、院内の状況が一目でわかりやすいようにチェア(診療台)が配置されています。同じ時間内であれば個室より多くの患者さんを診ていくことができるためです。ファミレスなどのファストフードの店でも同じような作りをしているのでわかりやすいかと思います。



一般的なオープンスペースの歯科

これに対して診療室が個室の医院では見通しが悪いいため、各々の部屋の治療の状況が確認しにくく、効率よく患者さんを診ていくことが困難です。小料理屋さんなどと同じで、効率よりも重要視していることがあるからです。では、何を重視して個室にするのでしょうか?



当クリニック：
診療室A(個室)

まずプライバシー・個人情報などが隣の患者さんに知られにくくなります。入れ歯や仮歯をはずした顔を他の患者さんに見られたくないといった場合や、金銭的な話を聞かれたくないなどさまざまな状況において安心していただくことができます。

また、隣で仮歯や入れ歯などを削っている粉末などが空

気を経由してこちらに来るのを防ぐことができますし、スタッフの行き来による空気の動きによる粉塵の巻き上げなどが抑えられます。要するに空気による感染を防ぐ効果が上がります。医科で手術をする場合、周りから切り離された空間で手術が行われるのと同じような理由なので、簡易的な手術室と考えればわかりやすいかもしれません。ですからオープンスペースの歯科医院でもインプラントなどの治療は個室(簡易手術室)で行うところも増えてきています。

歯科で行われる治療の多くは、程度の差はありますが外科手術です。出血を伴う処置を行うわけですので、当然、個室(簡易手術室)の方がより安全に治療を行うことができます。



当クリニック：
診療室B(個室)

当クリニックでは治療や説明を行う全ての部屋を個室とすることで、少しでも感染のリスク(危険)を避けるとともに、患者さんのプライバシーを守るようにしています。これまで述べた以外にも、例えば隣の患者さんが風邪をひいておられる場合でも、安心して治療をお受けになれます。さらに、どんなにお口の中が悪い状態でも他の患者さんの目を気にすることなく、治療についての説明を聞き、気軽にご質問いただけると思います。



当クリニック：
カウンセリングルーム
(個室)

当クリニックでは全室個室の診療室やカウンセリングルームを用意することで、患者さんが望むお口の状態で少しでも近づけていく治療を行っています。

院長 小池秀行
歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>